

## 目標達成計画

作成日: 平成22年3月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(13)	消防署の指導を受けるだけでなく実際に想定した訓練を行う。	2回/年の避難訓練を実施する。	マニュアルやフローチャートを充実させる。参加可能な利用者の方と職員で消防署指導の下、避難・救出を実際に訓練する。(3/20及び10月予定) 地域の方の協力を得る。	12ヶ月
2	(18)	外出困難な方や車いすの方が多いため、日常的に戸外へ出る機会が少ない。	全員の方が戸外の空気に触れ、四季の自然を楽しむことができる。	外出困難な方は日光浴を楽しんでもらえるよう工夫する。 車いすの方はホームの庭に出て草花に触れてもらう。 自立の方は散歩を楽しむ。	6ヶ月
3	(3)	運営推進会議の開催回数が少ない。	地域の行事等の交流で皆さんの協力を得て、開催回数を増やす。	年間開催日の計画を立てる。 関係者との連絡を密にとる。行政(地域包括支援センター)の方の出席の実現。	12ヶ月
4	(5)	徘徊者の危険防止の為に玄関の施錠及び医療行為(点滴)中の安全の為に拘束。	危険防止と安全面を優先に考えた上で、必要最小限とする。	家族及び医師との連絡を密にとり、了解を得た上で安全の為に進行。 マニュアルの再確認。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。